

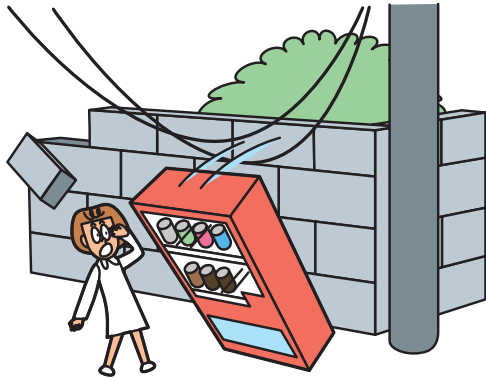
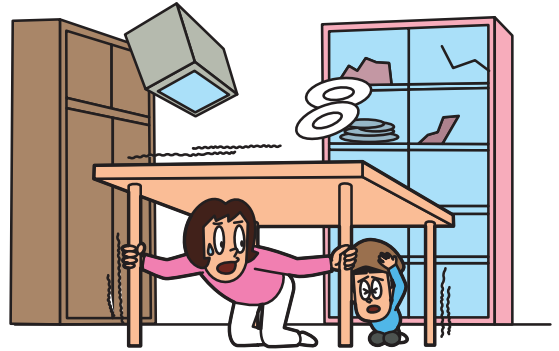
5

地震が起きた時に、その場の状況に応じて 身を守る心構えがありますか？

ケース① 自宅で

廊下など家具が比較的少ない場所で身を守りましょう。

近くに安全な場所がないときには、丈夫な机の下にもぐり、脚をしっかりと握りましょう。



ケース② 街中で

上からの落下物やブロック塀、自動販売機などの転倒物に十分気をつけましょう。空き地や安全そうな建物の中に身を寄せましょう。

ケース③ 電車で

電車は震度によって一旦停止します。手すりやつり革につかまり、転ばないようにしましょう。また、係員の指示に従い避難しましょう。

ホームで地震にあったら、転落しないようホームの中央に移動し、案内表示板などの落下物に注意してください。できるだけカバンなどで頭を守りながら、行動するようにしましょう。



津波避難の3原則

① 想定にとられるな

ハザードマップで「安全」とされた地域が危険になることもある。

② 最善をつくせ

「もう大丈夫だろう」と思い込まず、状況に応じて、さらに安全な場所を目指すべき。

③ 率先避難者たれ

いざという時は、まず自分から行動に移すべき。他の人に惑わされない。

